

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：林 行成 ）

著書，学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 医療経済学 15 講	共著	2018 年 11 月	新世社	著書全体の概要:本書は，医療経済学の入門的な教科書である。医療制度，理論，実証をバランスよく解説しながら，基礎的な分析を通して医療の現代的トピックスを検討した。 担当部分の概要:第 5 講「医療サービスの需要:不確実性，保険，情報の非対称性」，第 7 講「医療提供体制」，第 8 講「医療における競争と規制」，第 9 講「薬価基準制度と医薬品産業」，第 12 講「医師の労働市場と医師不足の問題」 (総ページ数:290 ページ) (細谷圭，増原宏明， <u>林行成</u>)
2 (学術論文) 医療機関の共同購入と薬価基準制度	単著	2021 年 3 月	『医療経営学論叢』第 14 号，pp.29-40，広島国際大学。	論文全体の概要: 経営改善手法として注目されている GPO 組織を通じた医療機関の共同購入について、医薬品購入と薬価基準制度の関係性について分析した。現行の薬価基準制度のもと、共同購入はある程度は普及するものの、一定の歯止めがかかる可能性を理論的に示唆した。 (総ページ数:12 ページ)
3 (学術論文) 医療用医薬品の納入価格と流通チャネル形態	共著	2019 年 3 月	『JSDM Review』第 3 巻第 1 号，日本商業学会。(掲載予定)	論文全体の概要: 医薬品卸と薬局間の医療用医薬品の納入価格の影響要因について実証研究を行い，流通での系列取引が納入価格に与える影響を検証した。 (総ページ数:8 ページ) (櫻井秀彦・丹野忠晋・増原宏明・ <u>林行成</u> ・山田玲良) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
4 (学術論文) 医療用医薬品の流通分析:卸の機能と情報提供サービスに関する実証研究	共著	2016 年 12 月	『流通研究』第 19 巻第 1 号，pp.15-24，日本商業学会。	論文全体の概要: 病院と薬局に勤務する薬剤師を対象として医薬品の取引形態や卸による情報提供の価値に関するアンケート調査を行い，分析した。 (総ページ数:10 ページ) (櫻井秀彦・丹野忠晋・増原宏明・ <u>林行成</u> ・恩田光子・山田玲良) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
5 (学術論文) DPC/PDPS におけるインセンティブ 《筆頭論文》	共著	2016 年 3 月	『医療経営論叢』，第 9 号，pp.35-50，広島国際大学。	論文全体の概要:DPC/PDPS による診療報酬支払制度がアメリカでの DRG/PPS による支払制度と比較し，経済モデルを用いて平均在院日数短縮への過度なインセンティブを与える仕組みであることを示した。 (総ページ数:16 ページ) (<u>林行成</u> ・前田隆二) 共同研究につき本人担当分抽出不可能
6 (学術論文) 医療用医薬品流通における交渉力と薬価基準制度	共著	2015 年 3 月	『応用経済学研究』，第 8 巻，pp115-127，日本応用経済学会。	論文全体の概要: 現行の薬価基準制度のもと、医薬品流通での卸と医療機関の交渉力がメーカーの利潤に与える影響を検証した。特に，現行の改定ルールの下，メーカーは卸に交渉力がある方を好み，卸の交渉力を高めるよう流通に介入するインセンティブを示した。 (総ページ数:13 ページ) (丹野忠晋， <u>林行成</u>) 共同研究につき本人担当分抽出不可能